

はその國語を失つてしまつたのである。近くは清朝を立てた滿洲族の如きもまたこの例に屬するもので、その國威の最も振つた時代には既に漢語の勢力によつて固有の滿洲語は衰態を呈し、遂には清朝の滿洲人にして固有の滿洲語を解するものは殆んど全く存しない有様となり、そうして遂に最期の運命を見なければならぬことになつたのである。これを我が日本民族が澎湃たる勢で輸入せられる漢文化漢語に對して、單に我が文化の發達を資ける意味に於て取るべきを取り、巧みにこれを消化し、國語の保存發達の上に少しも障礙を生ぜしめなかつたのと比較すると、その懸隔の甚しさに驚嘆せざるを得ないであらう。

凡そ我が文化發達史上に於ける外來文化の影響を考へると、すべてがこゝに述べた數例と並行し同一方針を以て進んで來たことが認められる。法制然り、科學然り、藝術然り、日本民族としての根本精神を失はずして外來文化の長所を取りこれを消化して更により善き獨得のものを作り出した點に特徴を有して居る。この特徴こそは我が祖先の日本文化史上に残した大なる誇であり、意義であるといはねばならぬ。そうして今日我々の上に課せられる責任もまたやはり同様で、廣く今の世界の文化に對して、曾て我々の祖先の取つたと同様の精神を以て臨み、独自の日本文化を大成することに邁進しなければならぬ。